

全国規模の審査で3年連続受賞！ 消防職員のアイデア！ウェブページにて一挙公開

横浜市消防局では、職員から業務改善に結びつくアイデアを毎年募集しています。

このたび、一般財団法人全国消防協会※が主催する事業「令和2年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文」において、当局で優秀作品に選定したアイデア2作品が、機器の部・論文の部に受賞し、3年連続の受賞となりましたので本市ウェブページにて作品を一挙公開します。共創推進に向けた取組や消火栓への落下防止など身近なアイデアを掲載しています。是非、ご覧ください。

※「全国消防協会」

全国の消防職員の知識、技術などを高めるため、各種事業を展開するとともに、防災思想の普及広報を積極的に推進し、住民生活の安全と社会公共の福祉を増進することを目的としています。

作品公開について

- 公開日 3月19日（金）より
- 内容 受賞作品及び局内優秀作品の概要を記載した資料
- 掲載 消防局管理・研究課ページ
次の二次元バーコード若しくは下記 URL より御確認いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyukyu-bohan/shobo/shokainado/shobokunren/kanri/syoukai.html>



作品及び受賞者（裏面以降作品紹介）

○ 令和2年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文（全国消防協会優秀作品受賞）

【作品1】（論文の部：秀賞）

「放火火災対策の推進と消防団員の入団促進のための高校生との共創事業について」
受賞者：南消防署 吉崎沙央理、志賀和彦

【作品2】（機器の部：秀賞）

「消防水利への転落を防止するマルチセーフティボードの開発について」
受賞者：港北消防署 榎本宜薫

○ その他、消防局優秀作品に選定したアイデア（3作品）

【作品3】「落下リスクをなくす消火栓等落下防止板の開発について」

受賞者：栄消防署 永島一步、新野亮平、佐々木友也

【作品4】「可搬消防ポンプ搬送用機器（ポンプキャリア）の開発について」

受賞者：鶴見消防署 上野裕喜

【作品5】「固定を迅速に実施できるシーネカバーの開発について」

受賞者：緑消防署 黒木淳一



右図の様な資料をwebページに掲載しています。取材を希望される場合は、各お問合せ先まで御連絡下さい。

横浜市消防局 マスコットキャラクター
『ハマくん』



裏面あり

作品の紹介

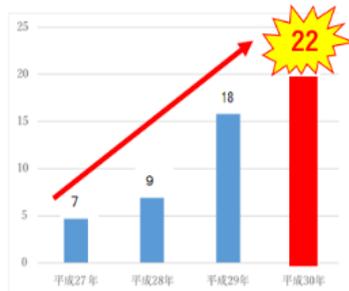
○ 令和2年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文（全国消防協会優秀作品受賞）

<論文の部：秀賞>

【作品1】放火火災対策の推進と消防団員の入団促進のための高校生との共創事業について

アイデアの概要

過去5年間の放火（疑い含む）火災件数
（区内）



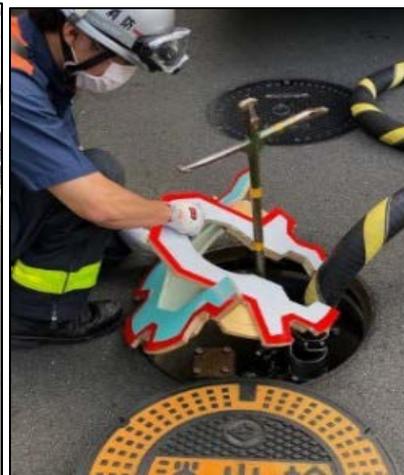
「高校生との共創事業」に関する論文は、地域防災力向上に向け共創の考え方を取り入れることで発見した気づきなどをまとめたものです。

令和元年度に南区に位置する横浜総合高等学校と連携を図り、生徒と消防職員が膝を突き合わせて地域の課題を発見し、最終的には生徒が主体となった地域防災を実現しました。地域と消防組織が連携した新しい形の取組となります。

<機器の部：秀賞>

【作品2】消防水利への転落を防止するマルチセーフティボードの開発について

アイデアの概要



「マルチセーフティボード」は、防火水槽並びに当局で使用している新型消火栓及び旧型消火栓、全てに使用できる転落防止用の資機材です。実際に、実動隊に配備し検証することで改良を重ねました。災害活動などで、消火栓の蓋を開放したことによる消防職団員及び市民の受傷事故を物理的に防止できる提案となります。

○ その他、消防局優秀作品に選定したアイデア（3作品）

【作品3】落下リスクをなくす消火栓等落下防止板の開発について

アイデアの概要



「消火栓等落下防止板」は、消火栓の蓋が開いていたことによる隊員や市民の落下を防ぐためのものです。

作業する部位以外の空間を、警告色を用いた板で覆うことにより物理的に人や物が消火栓に落下することを防止できます。

【作品4】可搬消防ポンプ搬送用機器（ポンプキャリア）の開発について

アイデアの概要



「ポンプキャリア」は、重量がある可搬消防ポンプを長距離搬送できるようにする資機材です。可搬消防ポンプに対応した敷板にキャスターを取り付けることで、搬送できるようにしました。災害活動などで、長距離搬送が必要になった場合も迅速な対応が可能になる提案となります。

【作品5】固定を迅速に実施できるシーネカバーの開発について

アイデアの概要



「シーネカバー」は、シーネを収納するポケットと固定用のベルトを付属したカバーケースです。傷病者に負担と時間、そして時に痛みを与えてしまう可能性があるシーネによる固定を改善する提案となります。誰が使用しても安全・確実に固定ができるシーネカバーは、汚損しても洗って再利用ができるため、コストパフォーマンスが高い提案となります。

○ 消防職員のアイデアを具現化していただける企業様をテーマ型共創フロントにて随時募集しています。

○ 「テーマ型共創フロント」

横浜市から民間の皆様へテーマを示し、そのテーマに対する公民連携事業の提案やアイデア等を募集する仕組みです。

URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kyoso/kyosofront/front/syousai/theme-front.html>

お問合せ先

(事業全般について)	消防局管理・研究課長	岸 信行	Tel 045-853-8601
(作品1について)	南消防署副署長	佐藤 茂雄	Tel 045-253-0119
(作品2について)	港北消防署副署長	和田 誠名	Tel 045-546-0119
(作品3について)	栄消防署副署長	大竹 宏明	Tel 045-892-0119
(作品4について)	鶴見消防署副署長	小澤 純	Tel 045-503-0119
(作品5について)	緑消防署副署長	小澤 雄造	Tel 045-932-0119